

2 主要業種の動向

(基準年の生産ウェイト上位8業種の動向(全19業種のウェイト計10,000))

(1) 鉄鋼業

- ① 生産(付加価値額ウェイト770.9 生産19業種中4位)
28年の生産は90.0で、前年比2.3%減と3年ぶりの低下となった。
これは、鋳鋼品、銑鉄鋳物などが上昇したが、
特殊鋼冷間仕上鋼材、鋼帯などが低下したことによる。
- ② 出荷(出荷額ウェイト1093.9 出荷19業種中3位)
28年の出荷は93.2で、同2.9%減と2年連続の低下となった。
これは、銑鉄、特殊鋼熱間圧延鋼材などが上昇したが、
特殊鋼冷間仕上鋼材、鋼半製品などが低下したことによる。
- ③ 在庫(在庫額ウェイト1948.0 在庫18業種中1位)
28年の在庫は100.7で、同12.7%減と3年連続の低下となった。
これは、鋼帯、特殊鋼熱間圧延鋼材などが上昇したが、
銑鉄などが低下したことによる。

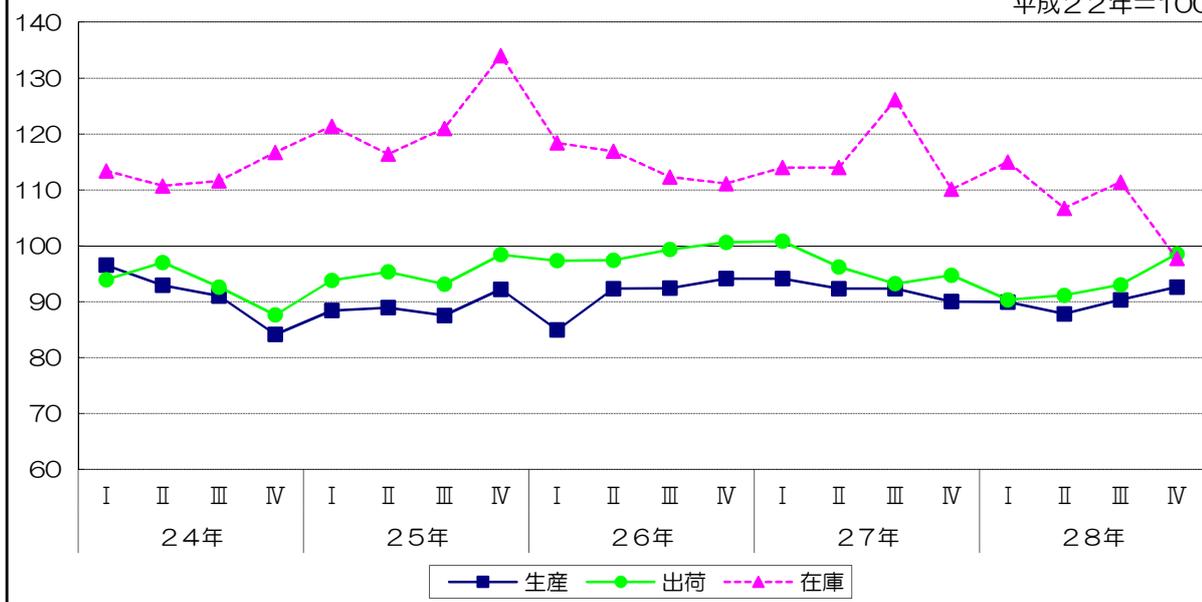
鉄鋼業の推移(年は原指数、四半期は季節調整済指数)

平成22年=100

	24年	25年	26年	27年	28年	四半期			
						I	II	III	IV
生産	91.0	89.1	91.0	92.1	90.0	89.9	87.8	90.3	92.6
前期(年)比	▲6.0	▲2.1	2.1	1.2	▲2.3	▲0.1	▲2.3	2.8	2.5
前年同期比	-	-	-	-	-	▲5.0	▲6.0	▲1.4	3.4
出荷	93.2	95.0	98.5	96.0	93.2	90.3	91.1	93.0	98.5
前期(年)比	▲6.2	1.9	3.7	▲2.5	▲2.9	▲4.6	0.9	2.1	5.9
前年同期比	-	-	-	-	-	▲10.3	▲5.6	0.4	4.8
在庫	119.8	140.2	118.6	115.4	100.7	115.0	106.7	111.4	97.7
前期(年)比	7.9	17.0	▲15.4	▲2.7	▲12.7	4.5	▲7.2	4.4	▲12.3
前年同期比	-	-	-	-	-	1.8	▲7.3	▲10.1	▲12.7

鉄鋼業の推移(季節調整済指数)

平成22年=100



(2) 金属製品工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト588.7 生産19業種中6位）
28年の生産は112.5で、前年比2.9%減と2年連続の低下となった。
これは、飲料用缶、ガス湯沸器などが上昇したが、
粉末や金製機械材料、ドラム缶などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト459.1 出荷19業種中6位）
28年の出荷は114.3で、同2.1%減と2年連続の低下となった。
これは、飲料用缶、軽量鉄骨系パネルなどが上昇したが、
粉末や金製機械材料、ドラム缶などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1073.3 在庫18業種中4位）
28年の在庫は114.5で、同9.9%減と2年連続の低下となった。
これは、ガス湯沸器、金網などが上昇したが、
飲料用缶が低下したことによる。

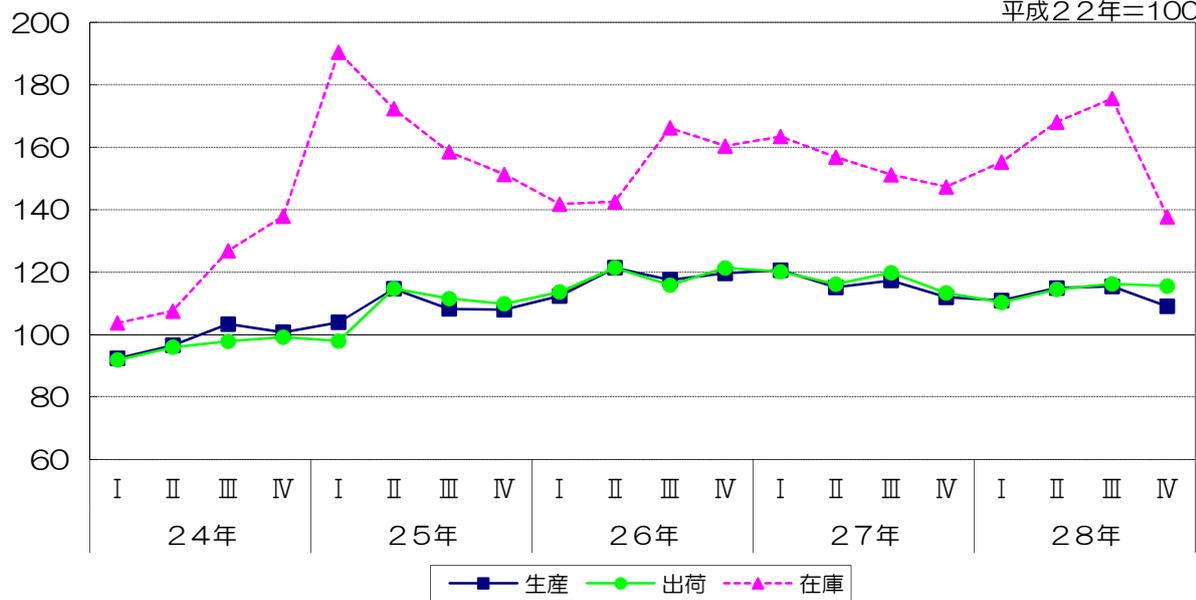
金属製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	24年	25年	26年	27年	28年	四半期			
						I	II	III	IV
生産	100.4	108.6	117.6	115.9	112.5	110.9	114.9	115.4	109.0
前期(年)比	5.7	8.2	8.3	▲1.4	▲2.9	▲0.9	3.6	0.4	▲5.5
前年同期比	-	-	-	-	-	▲8.9	1.1	0.3	▲4.0
出荷	98.2	108.5	117.9	116.8	114.3	110.3	114.4	116.2	115.5
前期(年)比	3.5	10.5	8.7	▲0.9	▲2.1	▲2.6	3.7	1.6	▲0.6
前年同期比	-	-	-	-	-	▲8.4	▲0.7	▲2.0	2.4
在庫	125.8	130.4	138.6	127.1	114.5	155.3	168.1	175.6	137.7
前期(年)比	35.9	3.7	6.3	▲8.3	▲9.9	5.4	8.2	4.5	▲21.6
前年同期比	-	-	-	-	-	▲6.8	8.5	20.2	▲9.9

金属製品工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100



(3) はん用・生産用機械工業

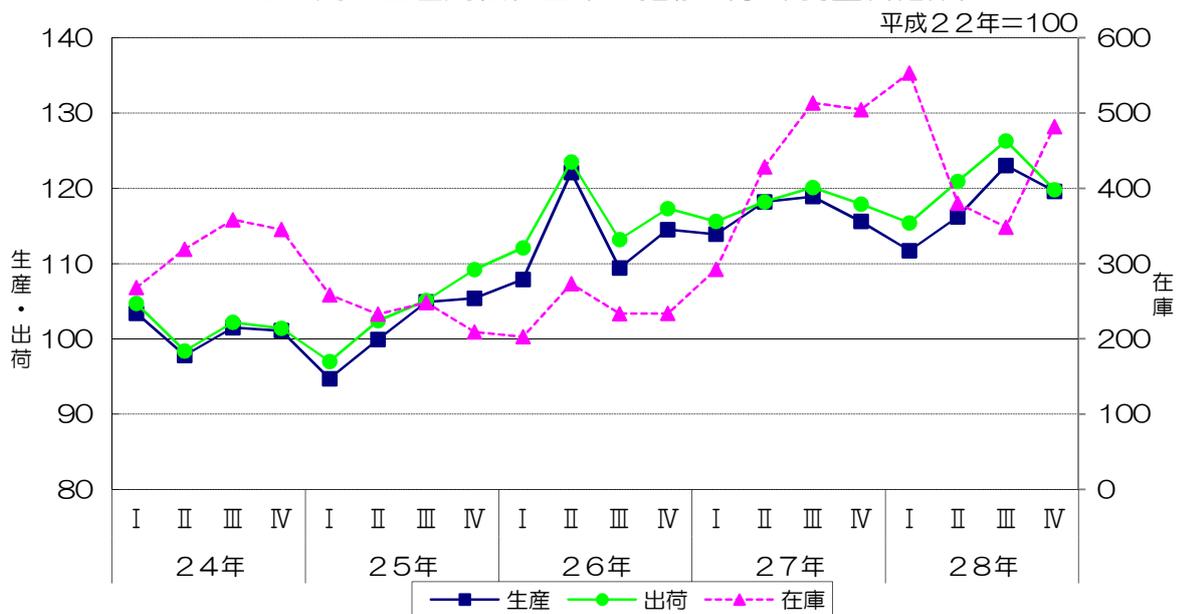
- ① 生産（付加価値額ウェイト776.0 生産19業種中3位）
28年の生産は117.7で、前年比0.8%増と4年連続の上昇となった。
これは、数値制御放電加工機、ショベル系掘削機などが低下したが、バルブ・コック、クレーンなどが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト670.8 出荷19業種中4位）
28年の出荷は120.5で、同2.0%増と4年連続の上昇となった。
これは、数値制御放電加工機、固定比減速機などが低下したが、バルブ・コック、クレーンなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト667.7 在庫18業種中6位）
28年の在庫は481.3で、同1.2%増と3年連続の上昇となった。
これは、ポンプ、ショベル系掘削機などが低下したが、ファンコイルユニットなどが上昇したことによる。

はん用・生産用機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	24年	25年	26年	27年	28年	28年			
						I	II	III	IV
生産	100.7	100.9	113.0	116.8	117.7	111.7	116.2	123.0	119.6
前期(年)比	▲5.1	0.2	12.0	3.4	0.8	▲3.4	4.0	5.9	▲2.8
前年同期比	-	-	-	-	-	▲3.9	▲0.9	4.7	2.9
出荷	101.5	103.2	116.1	118.1	120.5	115.4	120.9	126.3	119.8
前期(年)比	▲6.4	1.7	12.5	1.7	2.0	▲2.1	4.8	4.5	▲5.1
前年同期比	-	-	-	-	-	▲3.2	4.0	7.1	0.1
在庫	330.6	208.2	231.8	475.8	481.3	553.2	380.2	348.2	482.0
前期(年)比	71.1	▲37.0	11.3	105.3	1.2	9.7	▲31.3	▲8.4	38.4
前年同期比	-	-	-	-	-	91.1	▲13.6	▲35.2	1.2

はん用・生産用機械工業の推移（季節調整済指数）



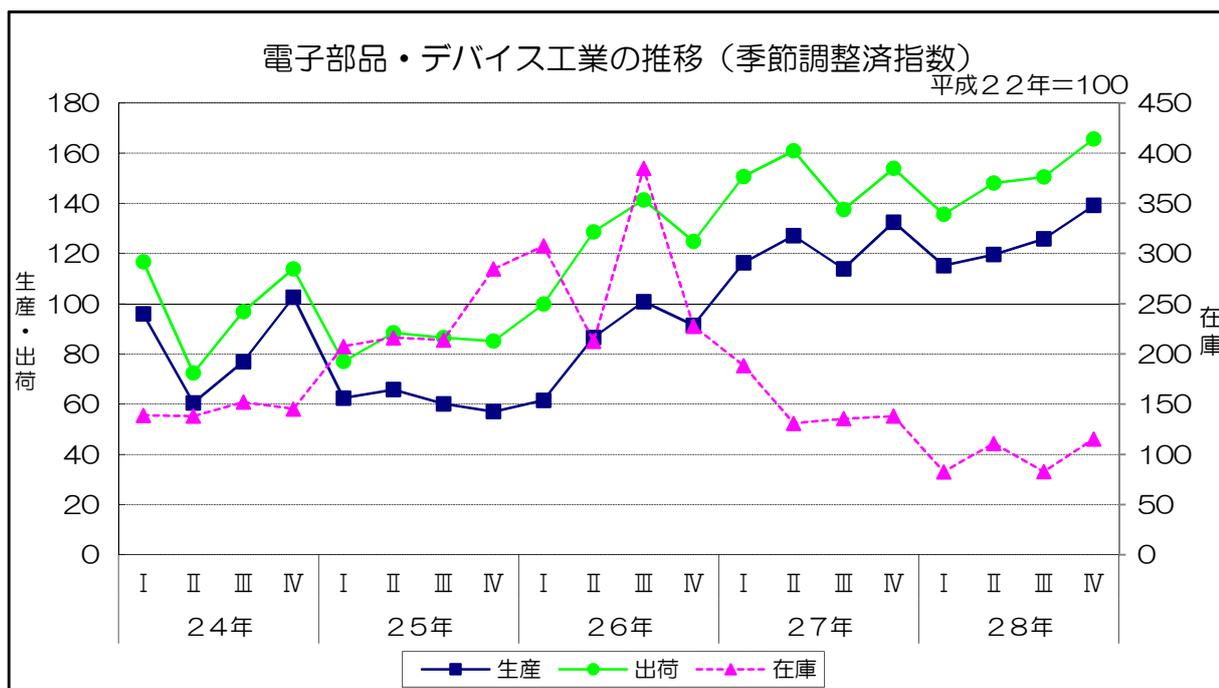
(4) 電子部品・デバイス工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト345.0 生産19業種中8位）
28年の生産は124.6で、前年比1.8%増と3年連続の上昇となった。
これは、混成集積回路などが低下したが、シリコンダイオード、トランジスタなどが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト379.4 出荷19業種中8位）
28年の出荷は149.4で、同0.3%減と3年ぶりの低下となった。
これは、トランジスタ、シリコンダイオードなどが上昇したが、計数回路などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト118.5 在庫18業種中16位）
28年の在庫は133.7で、同13.1%減と3年連続の低下となった。
これは、線形回路などが低下したことによる。

電子・デバイス工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	24年	25年	26年	27年	28年	28年			
						I	II	III	IV
生産	84.4	61.3	86.2	122.4	124.6	115.2	119.6	125.8	139.2
前期(年)比	19.4	▲27.4	40.6	42.0	1.8	▲13.1	3.8	5.2	10.7
前年同期比	-	-	-	-	-	▲1.6	▲5.9	10.1	4.1
出荷	101.1	84.2	124.6	149.8	149.4	135.6	148.1	150.5	165.7
前期(年)比	2.8	▲16.7	48.0	20.2	▲0.3	▲11.9	9.2	1.6	10.1
前年同期比	-	-	-	-	-	▲11.1	▲8.8	9.4	8.1
在庫	139.9	314.3	246.3	153.8	133.7	82.6	110.9	82.8	115.3
前期(年)比	▲9.7	124.7	▲21.6	▲37.6	▲13.1	▲40.1	34.3	▲25.3	39.3
前年同期比	-	-	-	-	-	▲59.5	▲15.2	▲37.2	▲13.1



(5) 輸送機械工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト3112.3 生産19業種中1位）
28年の生産は130.1で、前年比2.9%増と2年連続の上昇となった。
これは、鋼船修理などが低下したが、
四輪自動車、エンジンなどが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト2946.4 出荷19業種中1位）
28年の出荷は132.3で、同3.4%増と2年連続の上昇となった。
これは、機関部品、鋼船修理などが低下したが、
四輪自動車、エンジンなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト440.5 在庫18業種中8位）
28年の在庫は583.9で、同5.3%増と2年連続の上昇となった。
これは、四輪自動車などが上昇したことによる。

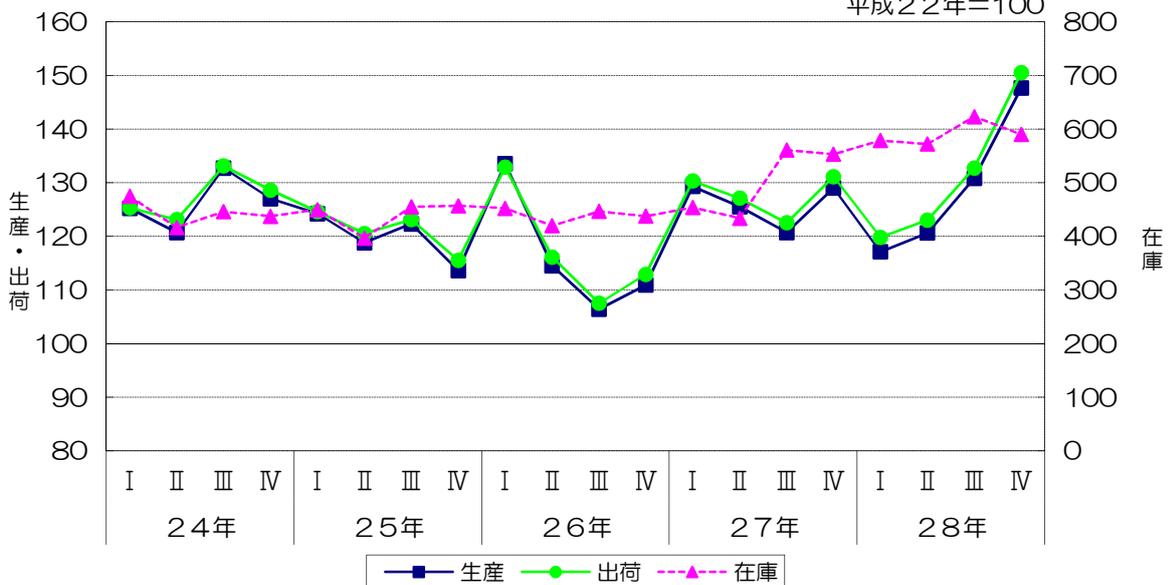
輸送機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	24年	25年	26年	27年	28年	28年			
						I	II	III	IV
生産	126.7	119.6	115.9	126.4	130.1	117.1	120.6	130.8	147.6
前期(年)比	15.5	▲5.6	▲3.1	9.1	2.9	▲9.2	3.0	8.5	12.8
前年同期比	-	-	-	-	-	▲6.8	▲3.6	4.9	17.7
出荷	127.9	120.8	117.1	127.9	132.3	119.8	123.0	132.7	150.5
前期(年)比	16.1	▲5.6	▲3.1	9.2	3.4	▲8.6	2.7	7.9	13.4
前年同期比	-	-	-	-	-	▲5.9	▲2.9	4.5	18.1
在庫	427.1	450.4	441.9	554.4	583.9	578.5	572.0	622.9	590.0
前期(年)比	0.6	5.5	▲1.9	25.5	5.3	4.6	▲1.1	8.9	▲5.3
前年同期比	-	-	-	-	-	25.0	27.4	15.3	5.3

輸送機械工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100



(6) 窯業・土石製品工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト381.9 生産19業種中7位）
28年の生産は101.1で、前年比2.7%減と3年連続の低下となった。
これは、ガラス短繊維、ほうろう鉄器などが上昇したが、耐火れんが、不定型耐火物などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト427.9 出荷19業種中7位）
28年の出荷は103.3で、同3.5%増と3年ぶりの上昇となった。
これは、衛生用陶磁器、生コンクリートなどが低下したが、耐火れんがなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト807.9 在庫18業種中5位）
28年の在庫は53.3で、同46.8%増と3年連続の上昇となった。
これは、ガラス製容器類、道路用コンクリート製品などが低下したが、耐火れんがなどが上昇したことによる。

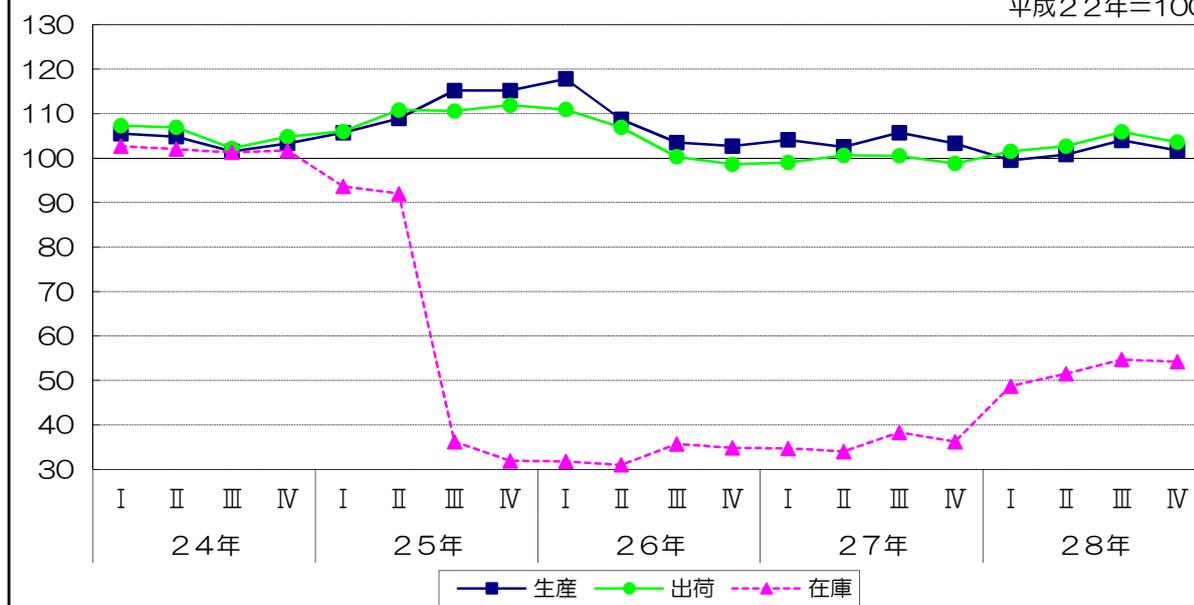
窯業・土石製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	24年	25年	26年	27年	28年	季節調整済指数			
						I	II	III	IV
生産	104.0	111.4	108.1	103.9	101.1	99.5	100.8	104.0	101.7
前期(年)比	▲2.3	7.1	▲3.0	▲3.9	▲2.7	▲3.7	1.3	3.2	▲2.2
前年同期比	-	-	-	-	-	▲5.9	▲2.0	▲1.1	▲1.6
出荷	105.3	110.0	104.2	99.8	103.3	101.5	102.7	105.9	103.6
前期(年)比	0.7	4.5	▲5.3	▲4.2	3.5	2.7	1.2	3.1	▲2.2
前年同期比	-	-	-	-	-	2.5	2.2	5.7	3.8
在庫	103.2	32.1	34.9	36.3	53.3	48.7	51.5	54.7	54.2
前期(年)比	▲4.4	▲68.9	8.7	4.0	46.8	34.5	5.7	6.2	▲0.9
前年同期比	-	-	-	-	-	42.2	51.0	41.3	46.8

窯業・土石製品工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100



(7) 化学工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト631.9 生産19業種中5位）
28年の生産は100.5で、前年比1.9%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、ジフェニルメタンジイソシアネート、ポリカーボネートなどが低下したが、医薬品、酸素などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト535.1 出荷19業種中5位）
28年の出荷は112.6で、同12.4%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、ジフェニルメタンジイソシアネート、ポリカーボネートなどが低下したが、医薬品、ビスフェノールAなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1337.6 在庫18業種中3位）
28年の在庫は86.2で、同20.6%減と3年ぶりの低下となった。
これは、触媒などが上昇したが、ビスフェノールA、ポリカーボネートなどが低下したことによる。

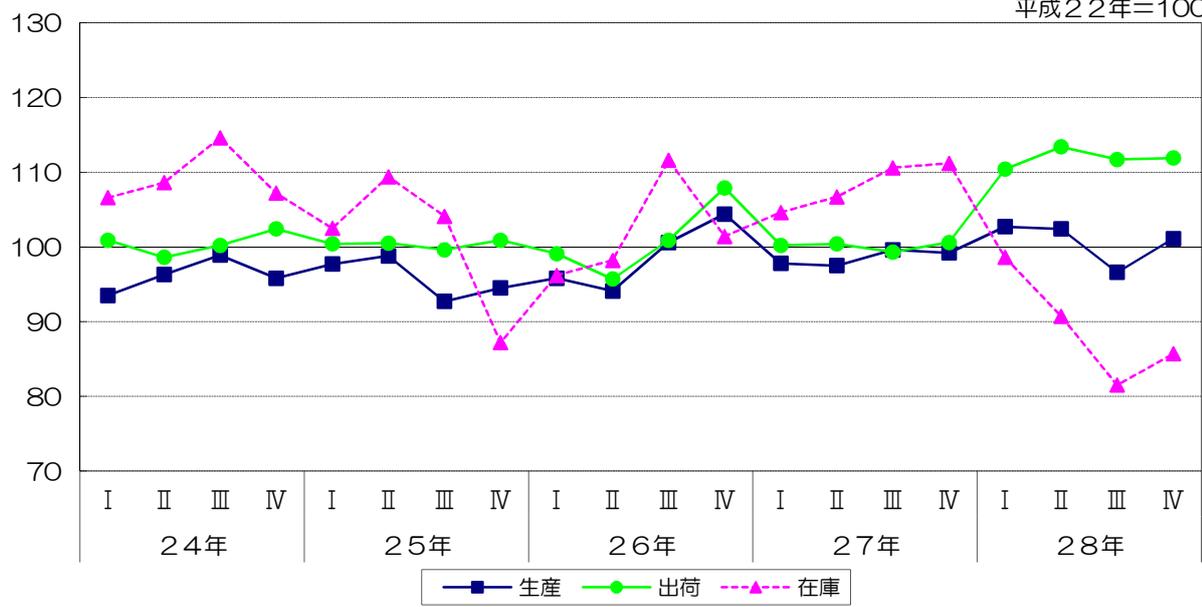
化学工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	24年	25年	26年	27年	28年	28年			
						I	II	III	IV
生産	96.2	95.9	98.7	98.6	100.5	102.7	102.4	96.6	101.1
前期(年)比	4.1	▲0.3	2.9	▲0.1	1.9	3.5	▲0.3	▲5.7	4.7
前年同期比	—	—	—	—	—	5.3	5.4	▲3.9	1.7
出荷	100.8	100.3	100.9	100.2	112.6	110.4	113.4	111.7	111.9
前期(年)比	4.7	▲0.5	0.6	▲0.7	12.4	9.7	2.7	▲1.5	0.2
前年同期比	—	—	—	—	—	15.1	14.8	10.8	8.8
在庫	109.4	88.2	98.9	108.6	86.2	98.6	90.7	81.5	85.7
前期(年)比	▲12.0	▲19.4	12.1	9.8	▲20.6	▲11.3	▲8.0	▲10.1	5.2
前年同期比	—	—	—	—	—	▲5.1	▲16.1	▲27.2	▲20.6

化学工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100



(8) 食料品・たばこ工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト1723.2 生産19業種中2位）
28年の生産は92.3で、横ばいとなった。
- ② 出荷（出荷額ウェイト1856.0 出荷19業種中2位）
28年の出荷は93.4で、同0.2%増と2年連続の上昇となった。
これは、枝肉、植物油脂などが低下したが、
清涼飲料などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1586.4 在庫18業種中2位）
28年の在庫は83.8で、同4.5%増と2年連続の上昇となった。
これは、小麦粉、焼酎などが低下したが、
ビールなどが上昇したことによる。

食料品・たばこ工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	24年	25年	26年	27年	28年	28年			
						I	II	III	IV
生産	101.2	96.5	89.5	92.3	92.3	92.6	92.6	91.4	91.0
前期(年)比	3.0	▲4.6	▲7.3	3.1	0.0	▲0.8	0.0	▲1.3	▲0.4
前年同期比	-	-	-	-	-	4.3	1.7	▲2.2	▲3.1
出荷	105.4	97.9	88.6	93.2	93.4	95.7	93.8	91.8	91.2
前期(年)比	8.7	▲7.1	▲9.5	5.2	0.2	0.3	▲2.0	▲2.1	▲0.7
前年同期比	-	-	-	-	-	9.6	2.0	▲3.2	▲5.4
在庫	75.6	74.0	74.0	80.2	83.8	88.8	86.2	86.5	91.8
前期(年)比	1.3	▲2.1	0.0	8.4	4.5	▲0.2	▲2.9	0.3	6.1
前年同期比	-	-	-	-	-	5.2	▲0.6	▲2.4	4.5

食料品・たばこ工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100

